
カエル！ジャパン通信 Vol.192 令和4年7月26日

発行：内閣府 仕事と生活の調和推進室

<<<今号の目次>>>

1. はじめに

2. 最新情報

《お知らせ》 1件

《地方公共団体等の動き》 8件

3. 取組紹介 小さな変化を大きな改革につなげる東工大版働き方改革
国立大学法人東京工業大学

■□■ 1. はじめに ■□■

内閣府男女共同参画局

総務省が公務を除く常用雇用規模100人以上の企業を対象に行った調査（※1）によると、テレワークを「導入している」と回答した企業は51.9%で、今後導入予定がある企業を含めると約6割と、前年の調査と比べて増加しています。また、テレワークを利用する従業員の割合が80%以上である企業の割合は、前年度調査時の6.7%から14.8%へ、大幅に増加しています。

政府では、去る6月に決定した女性版骨太の方針2022において、「男性の育児休業取得の推進及び働き方の改革」に向けた取組の一つとして、中小企業におけるテレワークの導入を引き続き支援するとともに、労務管理やICT活用をワンストップで相談できる窓口の設置等により「コロナ下で広まったテレワーク等多様な働き方の定着」に取り組むこととしています。

厚生労働省の「テレワーク総合ポータルサイト」では、テレワークの導入を検討している企業やテレワークに関心のある方向けに、テレワークに関するさまざまな情報を提供していますのでぜひご活用ください。

※1 総務省 令和3年通信利用動向調査 報道発表資料（企業編）

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05a.html>

※2 厚生労働省 テレワーク総合ポータルサイト

<https://telework.mhlw.go.jp/>

■□■ 2. 最新情報 ■□■

《お知らせ》

「働き方改革推進支援センター」のご案内

厚生労働省は、中小企業事業主の皆さまの働き方改革を支援しています（※）。

「働き方改革推進支援センター」での窓口相談、社労士等の労務管理の専門家の訪問相談サービスを利用してみませんか。【相談無料】

全国 47 都道府県に設置されている「働き方改革推進支援センター」では、長時間労働の是正、同一労働同一賃金の実現、働き方改革に関する労務管理上の課題などについて、窓口での対面や電話・メール・オンラインでの相談、セミナー等を無料で行っています。社労士等の労務管理の専門家が会社までお伺いする訪問相談サービスも行っていますので、お気軽にご利用ください。

【相談の申し込みなど詳細はこちら】

[働き方改革特設サイト](#)

働き方改革推進支援センターのご案内

<https://hatarakikatakaikaku.mhlw.go.jp/top/consultation/>

※厚生労働省委託事業

令和4年度中小企業・小規模事業者等に対する働き方改革推進支援事業

※「働き方改革推進支援センター」の名称を騙り、電話で「有料」の支援を持ちかける業者があるようです。本事業による「働き方改革推進支援センター」での支援は「無料」ですのでご注意ください。

《地方公共団体の動き》

（各事業の詳細はそれぞれの地方公共団体にお問い合わせください。）

【北海道】札幌市

Waffle Camp ホームタウン in 札幌

札幌市男女共同参画センターでは、夏休みに合わせ女子中高生向けプログラミング講座実施します。NPO 法人 Waffle という、女子の理系分野への進出や、IT 分野でのジェンダーギャップの解消を目指して活動している団体が先生となり、個別指導で自分だけのウェブ

サイトをつくっていきます。当日は女性エンジニアによるトークセッションも行います。

日時：令和4年8月8日（月）13：00～18：00

実施方法：オンライン（zoom）

対象：札幌市内に在住・在学する、女性/ノンバイナリー、gender nonconforming のアイデンティティを持つ、女子中高生

申込方法：専用フォームより申込み ※応募者多数の場合は抽選を行います。

必要な物：インターネットが利用できるパソコン（タブレットは使用不可）

※当日は Zoom のマイク・カメラをオンにできる環境で御参加ください。

https://www.danjyo.sl-plaza.jp/event_post/waffle-camp-hometown-insapporo/

【宮城県】仙台市

仙台市ライフプランセミナー「未来のイクボスになる」

自ら率先してワーク・ライフ・バランスに取り組み、部下や同僚の多様な生き方を尊重することが未来のイクボスにつながります。講師の経験談とワークショップから、自分のキャリアデザインやリーダーになるためのコミュニケーションを考えます。

日時：令和4年8月5日（金）13：30～15：30

会場：エル・パーク仙台 スタジオホール ※オンラインあり（Zoom）

対象：企業等の若手社員

定員：会場 50名 オンライン 50名

参加費：無料

申込方法：イベント申込フォームより申込み ※応募多数の場合は抽選。定員に余裕がある場合は締切後も受け付けます。

申込締切日：令和4年7月29日（金）

<https://www.sendai-l.jp/event/9560.html>

【埼玉県】さいたま市

【オンデマンド配信講座】女性の知恵で社会をデザインする講座～プレセミナー～「自分達が暮らす社会に希望を持つために」

女性が生活の中で感じる悩みや疑問は、地域や社会の問題であることを学び、発表する「女性の知恵で社会をデザインする講座」。プレセミナーでは、女性政策研究者の岩本美砂子さんを講師にお招きし、女性からの政策提言と女性リーダーの意義について、日本社会のこれまでの経緯を踏まえてお話を伺います。

配信期間：令和4年8月21日（日）～8月31日（水）

対象：テーマ・内容に関心のある方はどなたでもお申込みいただけます。

参加費：無料

申込期間：令和4年7月5日（火）9：00～8月17日（水）

申込方法：申込フォームにて受付

<https://www.city.saitama.jp/006/010/002/004/p089467.html>

【東京都】千代田区

育児クエスト～カードゲームで学ぼう家事・育児～

仕事と家事・育児の役割分担にお悩みのお二人にピッタリ！育児カードゲームを通じて、楽しみながら家事・育児を“見える化”しませんか。

日時：令和4年7月30日（土）10：00～12：00

会場：千代田区役所4階401会議室

定員：子育て中のママ・パパ、プレママ・プレパパなど10組20名（申込順／区内在住・在勤・在学の方を優先）

申込方法：電話、FAX、E-mailで申込

<https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/kurashi/danjo/miw/miw-shinchaku.html>

【東京都】台東区

講座「もっと知ろう 政治のこと ～女性が参加するとう変わる～」を開催します
多様な声を政治に反映するために、女性が政治に参画することはとても大切です。

もしかすると、政治を難しいものとしてとらえていませんか。この講座を通じて、政治を身近に、自分のものとして考え、前向きに関わっていきましょう。

日時：令和4年7月30日（土）10：00～12：00

会場：台東区立男女平等推進プラザ 403・404 企画室（生涯学習センター4階）

対象：どなたでも

定員：20名（申込み先着順）

<https://www.city.taito.lg.jp/kurashi/jinken/habataki21/kozaivent/bosyuucyuu/20220730seijikouza.html>

【兵庫県】

「起業への第一歩を踏み出そう!! ～仕事づくりセミナー～」の受講者募集

この講座では、自分自身でやってみたいという「思い」を大切に、実際に起業された方々にその過程や事例などをお話しいただくことにより、起業を具体化する「第一歩」を踏み出すお手伝いをするとともに、参加者の皆さんが直面している困難なことをお互いに共有し、様々な問題の解決に導きます。

日時：令和4年8月20日（土）、8月27日（土）、9月3日（土）各回10：00～16：00、9月10日（土）10：00～16：50 ※4日とも受講できる方が申込みの対象です

会場：県立男女共同参画センター セミナー室

対象：県内在住、在勤、在学で起業を目指している方、ワークやディスカッションに積極的

に参加していただける方、4日間とも参加できる方

定員：30名 ※申込多数の場合は抽選

受講料：無料

<https://hyogo-even.jp/seminar/%e3%80%908->

[20%ef%bc%88%e5%9c%9f%ef%bc%89%e3%81%8b%e3%82%89%e5%9c%9f%e6%9b%9c%e3%81%94%e3%81%a8%e9%80%a3%e7%b6%9a4%e5%9b%9e%e9%96%8b%e5%82%ac%e3%80%91%e3%80%8c%e8%b5%b7%e6%a5%ad%e3%81%b8%e3%81%ae.html](https://hyogo-even.jp/seminar/%e3%80%908-20%ef%bc%88%e5%9c%9f%ef%bc%89%e3%81%8b%e3%82%89%e5%9c%9f%e6%9b%9c%e3%81%94%e3%81%a8%e9%80%a3%e7%b6%9a4%e5%9b%9e%e9%96%8b%e5%82%ac%e3%80%91%e3%80%8c%e8%b5%b7%e6%a5%ad%e3%81%b8%e3%81%ae.html)

【徳島県】

オンライン講座 理系女子応援セミナー

女性の多様な視点や意見による技術革新が期待されています。徳島大学の理系女子との交流を通して、理系研究者としての未来をイメージしてみませんか。

日時：令和4年8月8日（月）13：30～15：00

対象：女子中学生・高校生

定員：20名程度

受講料：無料

申込方法：E-mailのみ

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/flair/event/campus/7207072/>

【長崎県】

子育てとワークライフバランス

仕事と家庭、子育ての両立、家族や職場の人間関係などについて、講師のお話を聞いたり、参加者同士で情報共有したりしながら、自分の思いや現状を整理して、心を軽くする生き方を一緒に考えてみましょう。

日時：令和4年8月7日（日）10：00～12：00

場所：アマランス研修室1

定員：20名 ※先着順

受講料：無料

申込方法：電話、窓口、FAX又はWeb専用フォームより

申込締切：令和4年8月6日（土）

<https://ngs-shiminkaikan.jp/facility/amaranth/course/>

会社名 国立大学法人東京工業大学
本社所在地 東京都目黒区
職員数 2,057名（男性 730名、女性 1,327名）2021年5月時点

小さな変化を大きな改革につなげる東工大版働き方改革

東京工業大学で始めたフリーアドレスについて、中心となって進めている学務部学生支援課支援企画グループの方に伺いました。

◆ターニングポイントと取組内容

2021年4月、東京工業大学の新たなランドマークとして学生のための国際交流拠点 Hisao & Hiroko Taki Plaza（ヒサオ・アンド・ヒロコ・タキ・プラザ）（以下 Taki Plaza という。）がオープンしました。Taki Plaza には、留学生を含む多様な学生、教職員が集う交流イベントスペースなどのほかに、学生にとって必要なサービスが、ワンストップでスムーズに受けられる学生支援窓口が1階と地下1階に集約されました。移転にあわせ、ただ引越しするだけでなく、これまでの書類がどっさり積み上げられたオフィスや、縦割りの働き方も新たに改革したいと思い、取組を始めました。

<Taki Plaza 働き方ポイント>

- ・事務室特有の書類であふれた環境を根本的に改善するため、フリーアドレス制と持ち運びしやすいノートパソコンを導入した
- ・ABW（Activity Based Working：業務内容や気分に合わせて自由に働く場所や時間を選択する働き方）を導入し、「集中ブース」や「ソファブース」など、働き方や用途に合わせて席を選択できるようにした
- ・複数の部署を1つにしたことで垣根を越えたワンストップサービスの実現＋連携強化＋風通しを良くした
- ・働き方改革の意識と環境を維持するために、オフィス改善委員会を設置した

◆課題と解決方法

異なる部署かつ教員と事務職員が同じスペースにいるため、立場と考え方も様々で、取りまとめ担当が苦心することがありました。学生との相談を中心に行う職員と、内部管理的な業務を行う職員といったような違いがあり、ゴミの出し方1つをとっても、部署ごとに様々な文化があり、意見が分かれることがありました。こうした課題に対しては、オフィス改善委員会にて話し合いの場を設け、最初のうちは関連部署の代表全員が参加し、細かなことを直接話し合っ解決しました。

引き続き、オフィス改善委員会と連携を図りながら、対応・解決に動いていきます。

◆取組における成果

- 1) 業務の内容に応じて場所を選べるよう集中ブース等を設けたことで、メリハリをつけて取り組むことができ、業務効率化・勤務時間の短縮に繋がった
- 2) モニター付きソファブースの設置等により、気軽に打合せができるようになった
- 3) ノートパソコンやWEBコミュニケーションツール導入等により大幅なペーパーレス化を実現した
- 4) クラウドでの書類保管が可能になったため、クリアデスクを意識し、事務室をきれいに保てるようになった
- 5) フリーアドレス制により他部署とのコミュニケーションの機会が増えた
- 6) 毎日席が変わることで気分転換ができ、リフレッシュに繋がった

◆職員の声（アンケート結果より）

- ・フリーアドレスになったことで他部署の方とは話す機会ができ、情報交換が気軽にできるようになりました。
- ・文字上のコミュニケーションで誤解が生じそうなときは、口頭でも合わせて確認をとっています。

◆今後の取組

今回の改革により、職員同士のコミュニケーションが活性化され、多様な交流によって、今まで持っていた様々な固定観念が払しょくされつつあると感じています。また、コミュニケーションの活性化により新しい発想が生まれ、学生にとってより便利であるとともに、働いている自分たちが楽しく効率的な業務が出来るように業務改革を推進していきたいと考えています。

【編集後記】

「働き方改革」という言葉を当たり前のように耳にする機会が増えました。改革のポイントとして、「時間」「場所」「ツール（道具）」を工夫している企業や団体が多いようです。「時間」は単なるフレックスタイム制にとどまらず、コアタイムを設けないスーパーフレックス制度や時短勤務の採用、「場所」は自宅やサテライトオフィス、ワーケーション先など柔軟なテレワークの実施、「ツール」はインターネット上での利便性向上や、コミュニケーション円滑化のためのコミュニケーションツールの導入などが挙げられます。

「働き方改革に関する実態調査（※）」によると、「多様で柔軟な働き方の導入状況及び今後の希望」について、「導入されており拡大を希望する」と回答した割合は、「在宅勤務・テレワーク」が 17.3%で最も多く、次いで「時差出勤制度」(15.4%)、「フレックスタイム制」

(7.6%)となりました。反対に「導入を希望しない」の回答は、「交替制勤務」が 35.1%と最も多くなりました。

どの制度も、従業員の仕事内容によってはメリットにもデメリットにもなります。働き方改革は、実施した後のフォローを積極的に行い、PDCA サイクルを回すことにより、さらにより良い職場の実現につながると考えます。

※東京都産業労働局 労働相談情報センター「令和2年度 働き方改革に関する実態調査」
<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/toukei/koyou/jouken/r2/index.html>

本メールは送信専用メールアドレスから配信されております。
このまま御返信いただいてもお答えできませんので御了承ください。

配信中止はこちらから

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/unsubscribe.php>

配信先変更は上記により配信中止の後、こちらから新しいアドレスで登録

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/subscribe.php>

バックナンバーはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府「仕事と生活の調和」推進サイトはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/index.html>